



Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム オンライン派遣（中南米の日系社会を知る）の記録

1. 概要

【目的】 日本の大学生及び大学院生を対象に、中南米諸国間との協力関係を築く若手人材を育成するためにオンラインプログラムを実施しました。本プログラムでは、同地域における日本の国際協力やコーヒー関連企業の取組を学ぶだけでなく、中南米と関連する機関で働く職員や中南米地域の日系人とオンラインでつなぎ、お互いの絆を深めました。

【参加者】 日本の大学生・大学院生 計 19 名

【訪問地】 東京都、兵庫県

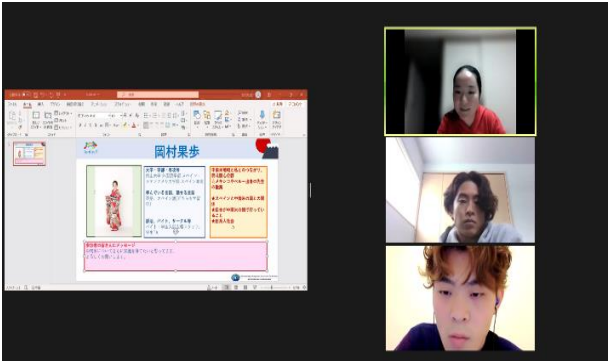
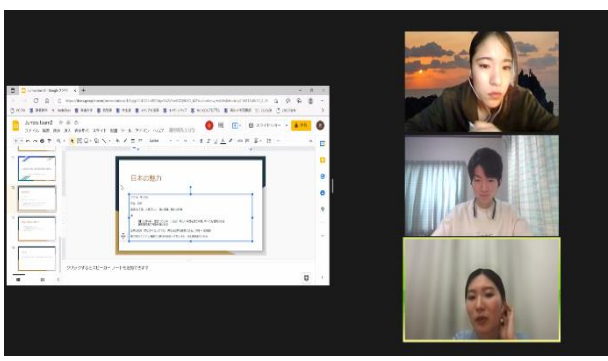
【日程】

日時 (日本時間)	内容	参加者の質問・反応
2022 年 3 月 1 日 (火) 9:00～11:30	【表敬訪問】 挨拶：外務省中南米局中米カリブ課 吉崎 茉耶主査 【オリエンテーション】 【アイスブレイク】 【基調講演・Q&A】 「中南米地域に対する国際協力 ～ SDGs の視点から～」 講師：JICA 緒方貞子平和開発研 所シニア・リサーチ・アドバイザー 細野 昭雄氏 1. 講義 2. 質疑応答	アイスブレイクでは参加者間交流を実施し、自身の滞在経験、あるいは大学・大学院で勉強している事柄を中心に、中南米についての知識を積極的に共有しました。 講義後の質疑応答では、中米地域から米国への移民問題についての質問等が出されました。中南米カリブ地域に対する日本からの国際協力について持続可能な開発目標（SDGs）の視点からまとめられ、体系的に理解することができました。
2022 年 3 月 3 日 (木) 9:00～11:00	【参加者意見交換・発表会】 1. 日本側参加者間でプレゼンテーションの発表 2. 感想発表、より良い発表作りを目指すためのフィードバック	各チームが、「日本の祭りや現代の日本人との関係」「日本の魅力や強み、身近にある中南米とのつながり」という2つのテーマで、中南米の参加者に伝える内容を模索しました。

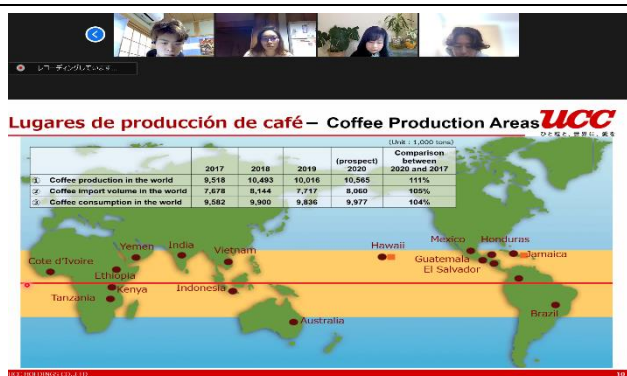
2022 年 3 月 7 日 (月) 9:00～11:30	【ウェビナー・質疑応答】 「JICA の日系社会連携」 講師：国際協力機構 (JICA) 中南米部 吉田 憲部長 1. 講義 2. 質疑応答 【中南米地域の社会人との交流】意見 交換会 3. 参加者間交流・被派遣者による発信 「日本の祭り」と現代の日本人との関係」 4. 意見交換	日本人移民の歴史とその後中南米に築かれた日系社会の現状を知り、日本政府の支援として日系社会の発展のために JICA が実施してきた事業について学びました。 質疑応答では、「日本から中南米日系社会への就労支援などのビジネスのつながりは、双方にどんなメリットをもたらすか」という質問が寄せられました。アルゼンチン、ブラジル、ボリビアの日系コミュニティ関係者に対して日本の祭りの話や現代の日本人と祭りの関係についての紹介を行いました。プレゼンテーションを聞いたブラジルの参加者より祭りの運営に関する質問を受けました。
2022 年 3 月 8 日 (火) 9:00～11:30	【ウェビナー・質疑応答】 「コロナ禍によって明確になった ICT の重要性：日本と中南米へのインプリケーション」 講師：神戸情報大学院大学副学長・特任教授 内藤 智之氏 1. 講義 2. 質疑応答 【参加者意見交換】振り返り	インターネットを活用してできることとできないことを見極めることが必要になること、今後のビジネスの着眼点について考える機会となりました。 「日本企業が出遅れているのでは」という参加者からの質問に対して「海底ケーブルは世界シェアでトップを誇り、活躍する日本企業もある」と講師から回答があり、日本企業の中南米での貢献について学びました。
2022 年 3 月 9 日 (水) 9:00～11:30	【企業訪問】 「コーヒーから考える SDGs」 講師：UCC ホールディングス株式会社サステナビリティ推進室 願能 千瑛氏 1. 講義 2. 質疑応答 【中南米地域の社会人との交流】講義の振り返り 【参加者意見交換】振り返り	産地別のコーヒーの特徴はもとより、産地における労働環境や雇用状況に関する問題、コーヒーの木の保全や将来のコーヒー生産・消費・需要状況について質問が挙がりました。コーヒー産業全体の課題と日本国内の民間企業の大きなチャレンジに目を向けることができました。

2022 年 3 月 10 日 (木) 9:00～11:30	【ワークショップ・中南米地域の社会人との交流】 【参加者意見交換】 1. プレゼンテーションの発表 「日本の魅力や強み、身近にある中南米とのつながり」 2. 感想発表、意見交換 3. アクション・プラン発表準備	テーマに沿って日本の魅力を発信し、中南米地域の社会人と意見交換を行いました。 世代の違う現地の人（若い人、年配の人双方）からでないといけないような話に、参加者は認識を新たにしました。例えば、日系人社会が世代を経るうちに現地の人々と同化していく一方、日本の伝統、美点がどのように継承されているのかについて考える契機となりました。
2022 年 3 月 11 日 (金) 9:00～11:00	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評	各チームの発表に対して、聞き手側が具体的なアドバイスや、建設的なコメントを行うなどチーム同士の横の連携を活かした発表会を行いました。

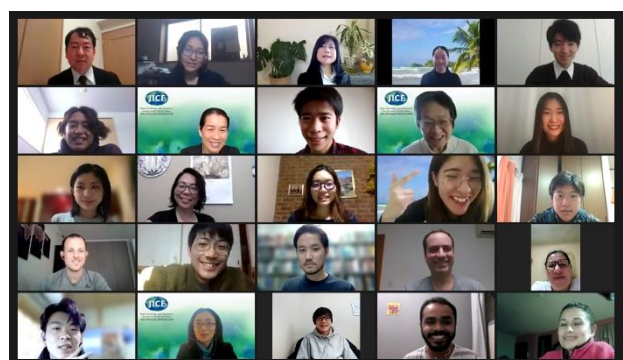
2. 記録写真

	
2022 年 3 月 1 日【オリエンテーション】 各自の自己紹介を熱心に聞き入る参加者	2022 年 3 月 3 日【参加者意見交換・発表会】 交流会に向けて発表内容を論議する様子
	
2022 年 3 月 7 日【ウェビナー・質疑応答】	2022 年 3 月 8 日【ウェビナー・質疑応答】

国際協力機構 (JICA) 講師と集合写真を撮影する様子



意見交換会で講師に質問をする参加者の様子



2022 年 3 月 9 日【企業訪問】コーヒーと中南米地域とのつながりについて学ぶ様子



2022 年 3 月 10 日【ワークショップ・参加者間交流】グループに分かれて交流後に中南米地域の社会人と撮影した集合写真

2022 年 3 月 11 日【報告会】アクション・プランを発表する様子

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加大学生

このようなオンラインプログラムには参加するのは正直初めてでしたが、自分が期待していた通り、プログラムの内容はもちろん、普段交わることのない学生との交流、意見交換などを通して、多くの刺激を得ることができました。他の学生の考え方や視点、経験などを聞いたりして今後の自分の活動のモチベーションやヒントになりました。それは自分からほかの学生にも同じことが言えていたら嬉しく思います。また日本のどこかや海外で会えることを楽しみに頑張ろうと思いました。

◆ 参加大学院生

中南米を知るきっかけになったのは良かったです。加えて、現在のそれらの国の現状や社会状況も何となく分かったので、後で個人的に興味のある国について勉強してみたいと思います。

◆ 参加大学生

スペイン語を用いて簡単な日常会話以上の話をする機会は今まであまりなかったので、そのような機会が得られたことにまず大変満足しています。また、JICA、JICE、のような機関、また UCC のよ

うな日本企業がどのようにしてラテンアメリカ諸国と関わっているのか、具体的な活動例を通して学ぶことができ、大変満足しています。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

中南米対日理解促進交流プログラムは、日本と中南米の信頼に基づく関係構築のために、極めて重要であり、今回のプログラムはその観点から非常に有意義である。

◆ 企業担当者

講師として登壇させていただきました。同時通訳のセミナーは初めてだったこともあり、大変貴重な経験となりました。このような機会いただけたことに感謝申し上げます。進行中も参加者が楽しそうにされている姿も見かけることがあり、そのおかげで私の緊張も緩み有難く思っていました。また、中南米はコーヒーと関わりが深く、そのような国からの参加者やそのような国に興味のある日本の学生から話を直接聞けることができ、とても嬉しく思っております。

5. 参加者の対外発信、報道記事

	
2022 年 3 月 1 日（Instagram） 今日が Juntos!!初日でした。 細野博士の講演に出席することができ、大変感動しました。 まだ自分の知識ではすべてを理解するまでには至りませんが、これから二週間学び続けるための大きなモチベーションとなりました。 「中南米地域に対する国際協力 - SDGs の視点から」	2022 年 3 月 2 日（Facebook） 3 月 1 日から 11 日まで、「Juntos!!」というプログラムに参加しています。 昨日は細野昭雄氏の講演があり、SDGs の観点からの中南米への国際協力について学びました。SDGs の多くの目標の達成、人間の安全保障や質の高い教育などに貢献するプロジェクトが多くあります。 国際協力や内発的な開発には大きな可能性があ

	ると思います。また、日系人の方々の働きや活動も忘れてはなりません。 私は、日本と中南米をつなぐキーパーソンになれるよう、このプログラムで多くのことを学びたいと思います。日系人の方々との交流が楽しみです。
	
2022 年 3 月 3 日 (Instagram) Juntos!! 2 回目でした。 2022 年 3 月 7 日に発表する準備をしました。 アニメやマンガの表現、マンガの音響効果（サウンドエフェクト）について話すことにしました。	2022 年 3 月 9 日 (Hello Talk) 今、日本とラテンアメリカ諸国との間の協力について理解するための JICE プログラムに参加しています。 今日は UCC（日本のコーヒーの企業）の職員の方が SDGs に関する活動についてのプレゼンテーションがありました。 皆さんはコーヒーを飲みますか？コーヒーは好きですか？ コメントをお待ちしております。 今日はコロンビアのコーヒーを飲みました。コロンビアで買ったものです。

 学生向けSDGs講座 UCCが業界の取り組み発信 国内外から参加があったオンラインセミナー＝神戸市中央区港島中町7、UCCホールディングス	2022年3月18日（神戸新聞） UCCホールディングス（HD、神戸市中央区）は、コーヒーを通じたSDGs（持続可能な開発目標）に関わる活動を身近に感じてもらうと、学生向けのオンラインセミナーに力を入れている。業界の取り組みを発信し、次世代を担う若者に理解を深めてもらう狙い。（中略）9日には、日本国際協力センター（JICE）が外務省から受託した国際交流事業のプログラムとして実施。英語とスペイン語の同時通訳があり、日本の学生に加え、中南米7カ国の外務省職員やメディア関係者ら25人が参加した。 同社の願能千瑛さん（31）がコーヒーの一般知識のほか、生産国の貧困解決や環境問題への取り組みをクイズや動画を交えて紹介。「今後もコーヒー産業の発展に貢献し、世界を笑顔にしたい」とアピールした。参加者は、質問や現地のコーヒー栽培事情の報告、感想などを述べ合った。
---	---

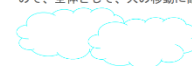
6. 最終報告会でのアクション・プラン発表

Team 1	
具体的な内容 日本のことを知ってもらえる、より興味を持ってもらえる内容 ・日本の伝統行事 ・文化(アニメ、マンガなど) 日常生活についても記事にして定期的に発信 似たような内容を発信している媒体との差別化を図るため、マイナーな部分を多く視野に入れる 方法 ①LINEグループで打合わせ(定期的あるいは不定期でもZoomのミーティングを行い、企画・組織としての運営を行う) ②共同SNSアカウントを作成(Facebook、Instagram、Twitterを運用) ③定期的あるいは不定期で記事を作成し、発信(日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語)	■ 実施理由： 日本の魅力、日本人の生活について発信することで ① 日本について親しみを覚えてもらう。興味を持ってもらう。 ② 様々な分野からのフォロワーを得て、ネットワークを広げる。 ■ 実施時期： 今日から取り組み、プログラム期間（3 か月）を過ぎても続ける予定。 ■ 実施する者： Team1 と Team2 の有志メンバーでの共同作業 チーム内に英語、スペイン語、ポルトガル語ができる人がいるため、それぞれの語学力を生かした記事作成、投稿が可能。 メンバーが日本各地に住んでいるため、地域特

	有の生活文化も発信できる。 ■ ターゲット： ・ SNS 利用者（Facebook, Instagram, Twitter） ・ 中南米で日本に興味がある人 ・ 日系人（日本国内含む） ■ 実施計画： ・ 日本のことを知ってもらえる、より興味を持ってもらえる内容：日本の伝統行事、文化（アニメ、マンガなど）。 ・ 日常生活についても記事にして定期的に発信。似たような内容を発信している媒体との差別化を図るため、マイナーな部分を多く視野に入れる。 ■ 実施方法： ① LINE グループで打合わせ（定期的あるいは不定期でも Zoom のミーティングを行い、企画・組織としての運営を行う） ② 共同 SNS アカウントを作成（Facebook、Instagram、Twitter を運用） ③ 定期的あるいは不定期で記事を作成し、発信（日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語） ■ 目標： ・ 3 か月で Instagram のフォロワー数 2000 を獲得。 ・ 多くの人に日本に興味を持ってもらう、日本に行きたいと思ってもらえる。 ・ 関連団体とのネットワークを広げる。 ・ 本プログラム参加者でなくとも、当組織の活動に賛同する人がいれば積極的に歓迎する。
--	---

Team 2

 B.プログラムで得た日本と中南米の関わりに関する気づきや学んだこと ・ 国際協力: インフラ整備、観光に誘う観光客手配、治安確保による犯罪抑止、農業技術の発展（自給自足の生産） ・ 日本: 災害という存在が日本特有のものでブラジルにまで広がっていた事! ・ 技術: インターネットにアクセスできない、27歳人たちの就職を考える事 ・ 目に届えるインターネットだけではなく、海を繋ぐブロードバンド関連での技術もICT普及に貢献している事! → 日本企業(NECなど)のシェアは9割ほどある	■ 実施理由： 日本の魅力を多くの中南米の方々に知ってもらい、日本と中南米の絆を深める。 ■ 実施時期： プログラム後、すぐに実施し、継続して行っていく。 ■ 実施する者：
---	---

D. Our Action Plan ▶日本の魅力を日本語・スペイン語・ポルトガル語の3言語で発信する SNSアカウントを作成  中南米・カリブの人々 プログラム終了後すぐに実行します！	Team1 と Team2、有志メンバーで実行する。 ■ ターゲット： 中南米及びカリブ海地域の人々、“ニッケイ”にルーツを持つ人々 ■ 実施方法： SNS（Instagram や Facebook、Twitter）でアカウントを作成し、Juntos!!で学んだことや日本文化、日系人の活躍などを紹介する。中南米地域の人々にこうした発信を通して日本のことをより深く理解してもらうとともに、日本を訪れたいと思ってもらうきっかけ作りとする。日本語だけでなく、英語やスペイン語、ポルトガル語でも記事を作成し、中南米の人々が日本のことを知る上で役立つ、大きな SNS ツールとする。
Team 3	
中南米の人々と交流して学んだこと（中南米について） ・中南米と言われた時にぱっと思い浮かぶ国（ブラジル、チリなど）以外にも面白い国がたくさんある！ ・国土が大きい国の人々は、国内の文化的・地理的差異があると述べることが多い。 （州、都市でもかなり多様であると現地の人々は感じている。） ・日本人が想像していない観点からの交流がある お話を聞いていて「日本についてそんなこと知ってるんだ！」と思うことがあった（ひらがな、カタカナの違い）。 ・日系社会が思っていたよりも大きく、現地の人々の多くは日系以外の移民がたくさんいると述べていたので、全体として、人の移動に耐性がある。  Our action plan  ・ SNSでの発信を継続（それぞれ） 各々が利用している SNS の機能を活用して様々な方法で発信する ・ 現地にいる人は現地の授業などを通してそれぞれ日本の個性や特色を発信 日本のステレオタイプに寄せたものでなく、今回の研修と通じて気づいた日本の魅力を発信したい。理解してもらうために工夫した経験も活かしていきたい。 ・ ツイッターのリスト機能を利用 中南米関連の活動や、中南米で日本に関する活動をしているアカウントを追加。 言葉の壁があっても、情報を手に入れやすくする。	■ 実施する者： ・ SNS での発信を各メンバーが継続する。 各々が利用している SNS の機能を活用して様々な方法で発信する。 ・ 現地にいる人は現地の授業などを通してそれぞれ日本の個性や特色を発信する。日本のステレオタイプに寄せたものでなく、今回の研修と通じて気づいた日本の魅力を発信したい。理解してもらうために工夫した経験も活かしていきたい。 ■ 実施方法： ツイッターのリスト機能を利用する。中南米関連の活動や、中南米で日本に関する活動をしているアカウントを追加。言葉の壁があっても、情報を手に入れやすくする。

Team 4

プログラムで得た日本と中南米の関わり に関する学びや気づきなど

- ・中南米で作られた貴重なコーヒー(UCC様の講演より)
- ・パラグアイのゴマ産業(細野昭雄様の講演より)
- ・BOSAI, GENSAI, TAISHINIについて(細野昭雄様の講演より)



OUR ACTION PLAN

- ・日本⇄ラテンアメリカの関係、関心強化!!!
 - ・コロナ禍後の交流再活性化に向けて、身近なテーマや暮らしについて知ることから相互理解を深める。
 - (例) 日本人→街中に潜む中南米料理店を体験
中南米→写真や動画から日本の日常を知る
- ・HelloTalkのような言語交換アプリや、オンラインコミュニティの活用

■ 実施理由：

日本とラテンアメリカもっと仲良くしたい。
新型コロナウイルス感染症の影響がなくなったらたくさん交流できるように、日本とラテンアメリカの関係をもっと深くしたいため。

■ 実施時期：

プログラム終了後

■ 実施する者：

Team 4 のメンバー

■ ターゲット：

日本人、ラテンアメリカの人々

■ 実施方法：

メンバーで役割分担し、ラテンアメリカを日本へ、日本からラテンアメリカへ発信する。
各々の持つ、コミュニティやアプリを駆使し、役割を上のようにまた切り口を変えてアプローチする。また、フィードバックを定期的に行い意見交換、などを経て期間内でさらに良い方法を模索していく。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)